

## 天狗岳山行報告

【山行日】2018年10月28日(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 6,100円

【メンバー】CL:鈴木、石川、岩淵、石澤、関、鶴見、福島、藤原、吉田、佐藤(現地参加)

【コースタイム】岩舟支所 P4:00＝唐沢鉱泉  
P7:50/8:10～西尾根分岐 9:00～第一展望台  
9:50～西天狗岳 11:10/11:30～東天狗岳  
11:50/12:30～黒百合ヒュッテ 13:30/13:45～  
唐沢鉱泉分岐 14:25/14:35～唐沢鉱泉  
P15:40/15:50＝岩舟支所 P22:30



去年同じコースを計画して雨で中止になり、リベンジで今年も計画した。今年は朝から好天に恵まれ、ルンルン気分で岩舟支所を出発し登山口の唐沢鉱泉を目指す。唐沢鉱泉に着くと、登山者用駐



車場はすでに満車で、路肩の空いているスペースに車を止める。登山靴に履き替え準備が整ったらトイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。今回はY田さんの友人S藤さんが、我々と同行したいと申し入れがあり一緒に登ることになった。唐沢を橋で渡ると樹林帯の登りとなり、シラビソやモミの鬱蒼とした登山道を進む。1時間程登り尾根に出た所が西尾根の分岐で、小休止しリンゴや菓子をいただく。

ここからは西尾根を東に向かって進み、シラビ

ソやコメツガの樹林帯を登って行く。南側が開けた岩場に出て、少し進んだところが第一展望台で硫黄岳や阿弥陀岳の展望が素晴らしい。

さらに岩交じりの尾根を進むと、再び展望が開け第二展望台に出る。ここから鞍部まで下り、西天狗岳への登りに取付く。大きな岩を縫うように登る急登で、岩に慣れない人は苦労して登っていた。後ろを振り返ると、甲斐駒ヶ岳や鳳凰三山など南アルプスの山々が一望でき疲れを癒してくれる。しだいに傾斜が緩くなり、岩も無くなると広い西天狗岳山頂に飛び出る。さえぎる物が無い360度の大パノラマと、登り切った達成感に思わず歓声上がる。南に硫黄岳から赤岳、先週登った権現岳と編笠山が見え、北側には縞枯山や北横岳、霧ヶ峰から美ヶ原まで見渡せ大興奮。



それぞれ写真を撮り合い、キーウイやチョコを食べながら展望を楽しむ。展望を楽しんだらすぐ隣の東天狗岳に向かう。一旦鞍部まで下り、ザレた登山道を登り返すと東天狗岳山頂に着く。岩峰で



山頂は狭いが、こちら360度の大展望が広がる。記念写真を撮りここでランチタイムとし、風を避けて東側の岩陰でキノコうどんを作る。温かいうどんにイカの天ぷらや煮タマゴが付、空いたお腹には格別に美味しく感じる。ランチが済んだら下山し、尾根伝いに中山峠に向かう。岩場の歩きにくい登山道で気が抜けないが、展望は素晴らしく稲子岳やニューの山並みを眺めながら下って行く。樹林帯に入ると木道になり、とても歩き易くなる。2回目の樹林帯を過ぎると中山峠に降り、

ここを左に進むと間もなく黒百合ヒュッテに着く。ヒュッテの前のベンチでは大勢の登山者が休んでおり、我々も休憩して饅頭やチョコを食べ疲れを癒す。トイレを済ませたら出発し、渋の湯に向かって降りて行く。樹林帯の中の大きな岩がゴロゴロした、歩きにくい道を下って行く。所々木道や鉄のアミで歩き易くなっているが、岩を歩く道は滑って気を抜けない。やがて平らで広い場所に出て、ここが唐沢鉱泉への分岐となる。最後の休憩を取り、残ったミカンや菓子などを食べエネルギーを補給する。ここからも苔むした樹林帯を下るが、大きな岩は無くなり少し歩き易くなった。傾斜が緩くなり唐沢を橋で渡り、沢沿いに緩やかに下ると唐沢鉱泉の前に出る。トイレを済ませ、靴を履き替えたら車に乗り帰路につく。



途中、桜平分岐からつつじヶ丘別荘地に掛けては紅葉が丁度見頃で、車窓から見るカエデやカラマツの紅葉が見事だった。

諏訪ICから中央道に入ると、大月から小仏トンネルまで30Km渋滞と出ていたが1時間位で抜けられるだろうと思っていた。ところがその考えは甘く、渋滞を抜けるのに3時間近くかかってしまい、予定よりも大幅に遅れて岩舟支所に到着した。翌日仕事に出る方々には、多大な迷惑を掛けてしまい今後の山行に向け反省をさせられた。

